

一般向けパスファインダー 子どもに手渡す本を探す



＜保護者の方や読書ボランティアの方、学校司書の方へ＞
子どもたちに、さまざまな本と出会い、広い世界を知ってもらいたい。
でも、どんな本を手渡せばいいのかな？
そんなときに役立つ「子どもの本の探しかた」を、一冊にまとめました。

★各資料の詳細は、図書館の蔵書検索システム（OPAC）でご確認ください。

（所蔵館によって、出版年や分類番号が異なる場合があります）

目次

1.図書館の本を探すには

分類番号から調べる	P.2
蔵書検索システム（OPAC）で調べる	P.3

2.こんなときには（状況別 Q&A）

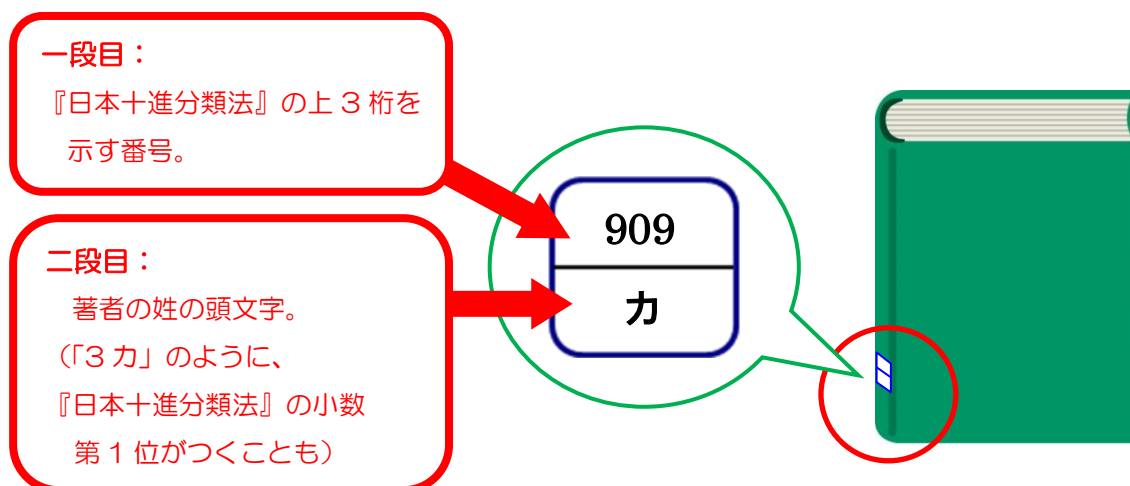
Q1. どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい	P.5
ノート① 子どもにとって「いい本」って？	P.6
Q2. 定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい	P.7
コラム①「国際子ども図書館」を使いこなそう！	P.10
Q3. 児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい	P.11
ノート② 児童文学賞・絵本賞の最新情報の調べかたについて	P.11
Q4. 子どもの本に関する事典や年表が見たい	P.12
コラム②「東京都立多摩図書館」を使いこなそう！	P.14
Q5. 読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい	P.15
ノート③ 読み聞かせ・おはなし会に関わる著作権について	P.16
Q6. 異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい	P.17
Q7. 障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい	P.19
ノート④ 障害のある子どもたちと、読み聞かせの可能性	P.20
Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい	P.21
「テーマ・ジャンル」から本を探す	P.21
「登場人物」から本を探す	P.24
「場所」から本を探す	P.25
「日付」から本を探す	P.26
「科学」に関する本を探す	P.27
「進路・職業」に関わる本を探す	P.28
コラム③「東京子ども図書館」・「家庭文庫」に行ってみよう！	P.29
コラム④ 悩みがあるとき、こんな本はいかがですか？	P.30



1.図書館の本を探すには

● 分類番号から調べる

杉並区立図書館では、『日本十進分類法』（日本の図書館の多くで採用されている方式）に基づく分類ラベルを添付して、資料を整理しています。



子どもの本に関わる資料には、次のような分類番号が割り振られています。どんな本があるか知るには、まずこれらの番号の棚を眺めるのがおすすめです。

019.5：児童読物・青少年と読書	726（726.6）：絵本
028：選定図書・参考図書	909：児童文学

★一部、上記の例とは異なる方式で分類されている場合もあります。

蔵書検索システム（OPAC）で検索・ご確認の上、目的の本が見つからないときは、図書館のスタッフにお声がけください。

★青枠のラベルは貸出可能な資料、赤枠のラベルは館内利用のみ（禁帯出）の資料です。

★杉並区立図書館で採用している分類やラベルのルールについて、さらに詳しく知りたいときには、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

● 蔵書検索システム（OPAC）で調べる

図書館の資料は、蔵書検索システム（OPAC）を使って検索できます。

OPAC は、図書館内の端末機か、図書館ホームページから利用できます。

<図書館内の端末機から検索するとき>

ここに、お好みの「キーワード」を入れてください。

<図書館ホームページから検索するとき>

詳しい使いかたはこちら

ここに、お好みの「キーワード」を入れてください。

★OPAC の詳しい使いかたを知りたいときは、画面右上の「？」マークのところに
あるヘルプページ、または、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の
「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

2.こんなときには（状況別 Q&A）

「子どもにこんな本を手渡したい！」の8つのシーン別に、子どもの本の探しかた・調べかたをご案内します。困ったときに、どうぞご活用ください。

Q1 どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい →P.5

Q2 定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい →P.7

Q3 児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい →P.11

Q4 子どもの本に関する事典や年表が見たい →P.12

Q5 読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい →P.15

Q6 異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい →P.18

Q7 障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい →P.20

Q8 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい →P.22

★以降のページで、分類番号の横に「R」とあるのは＜参考資料＞、「児」とあるのは＜児童資料＞、無表記は＜一般資料＞を示しています。



Q1

どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい

まずはできるだけ多くの子どもの本の中から、どんな本があるのか探したい。
そんなときに使える目録やデータベースをご紹介します。

『児童文学書全情報』

日外アソシエーツ／編・発行（R909 二）

日本で刊行された児童文学に関する研究書や、児童文学作品（ノンフィクションも含む）、全集、アンソロジーなどを網羅的に収録した目録。目次や内容紹介が読めるものもある。巻末には、書名・著者名・挿絵画家索引あり（以上、最新版2016-2019の場合）。

現在までに、以下の巻が刊行されている。

- ・『児童文学書全情報 51/90』（1998 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 91/95』（1999 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 1996-2000』（2001 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 2001-2005』（2006 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 2006-2010』（2011 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 2011-2015』（2016 年刊行）
- ・『児童文学書全情報 2016-2019』（2020 年刊行）



「国立国会図書館 NDL ONLINE」

(<https://ndlonline.ndl.go.jp/>)

国立国会図書館の蔵書が検索できる。

国内では最大級の蔵書データベースで、日本の刊行物をできるだけ網羅的に調べたいときに向いている（キーワードはじめ、さまざまな条件設定で検索できます。「所蔵場所」を「国際子ども図書館」にすれば、検索結果を児童書に限定できます）。

※「トップ＞蔵書検索」から、NDL ONLINE に入れます。



「日本児童図書出版協会 こどもの本 on the web」 (http://www.kodomo.gr.jp/)	
日本児童図書出版協会が運営する子どもの本のデータベース。主要出版社から刊行されている本を検索できる。対象年齢別やジャンル別に細かく検索できて便利。	
「絵本ナビ」 (https://www.ehonnavi.net/)	
種類（絵本、しかけ絵本、紙芝居、図鑑など）、テーマ、対象年齢などから絵本を探すことができる。実際に読んだ人、読み聞かせをした人のレビューが書き込まれており、参考にできるのが特徴。一部、ためしよみができるものもある。	

子どもにとって「いい本」って？

子どもたちには、たくさん「いい本」を読んでもほしい……でも、「いい本」って、そもそもどんな本でしょう？

『貸出禁止の本をすくえ！』（アラン・グラッツ／著、ないとうふみこ／訳、ほるぷ出版／発行、2019年、児930ク）は、少女エイミーが、お気に入りの『クローディアの秘密』（カニグズバーグ）が突然図書館で貸出禁止にされたのをきっかけに、自分の読みたい本を読むために立ち上がる話です。事実、アメリカではかつて、『クローディアの秘密』をはじめ、

『かいじゅうたちのいるところ』（センダック）など、今や日本でも人気の名作が、大人たちから「子どもにはふさわしくない」とみなされていたことがあったのです。

大人は子どもにいろいろな本を選びますが、それが「よい本」かどうか、最終的に決めるのは子どもたち自身だということが、よく伝わってくる一冊です。





Q2

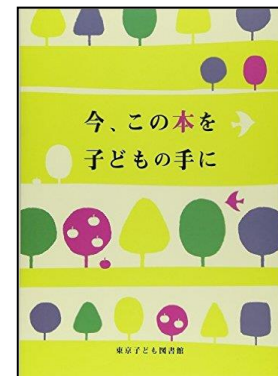
定評のある子どもの本に、どんなものがあるか知りたい

子どもに本を手渡すときは、その子のことを思っている人が、その子の好みを想像しながら選んであげるのが一番です。でも、昔から子どもたちに喜ばれてきた本や、よく読まれている本、おすすめの本を知りたいときには、こんなガイドをどうぞ。

『今、この本を子どもの手に』

東京子ども図書館／編・発行、2015 年（O28 ト）

日本を代表する子どもの図書館「東京子ども図書館」（→ P.29）によるブックガイド。＜東日本大震災で被災した図書館が、蔵書を再び揃えるときに助けになるように＞という意図で作られた小冊子を元にしている。子どもの手に届くところにぜひ置いておきたい本を、刊行年代や対象年齢、ジャンルなどのバランスを考えつつ厳選。



『絵本の庭へ』『物語の森へ』

東京子ども図書館／編・発行（O28 ト）

上記「東京子ども図書館」が、1950 年代以降に刊行された絵本（『絵本の庭へ』、2012 年刊行）、児童文学作品（『物語の森へ』、2017 年刊行）の中から、それぞれ長く読み継がれている作品を厳選して紹介。基本的な書誌情報の他、あらすじやその作品の魅力などのポイントも読める。巻末に、書名・人名・件名索引あり。



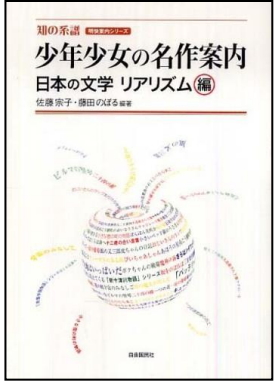
『ひとりでよめたよ！』

幼年文学おすすめブックガイド 200』

大阪国際児童文学振興財団／編、評論社／発行、
2019 年（O19.5 才）

小学 3 年生頃までの子どもたちに読んであげたい本、また、ひとりで読めるような幼年文学を紹介するブックガイド。司書、児童文学研究者、書店員などが読みどころを解説する。巻末に書名索引とキーワード索引あり。



『キラキラ読書クラブ 子どもの本 702 冊ガイド 改訂新版』 キラキラ読書クラブ／編、住田一夢／絵、 玉川大学出版部／発行、2014 年（児 010 キ）	
「新・どの本よもうかな？」シリーズ 日本子どもの本研究会／編（児 010 ニ） 読書教育の実践と研究を行っている「日本子どもの本研究会」の会員たちが、「これだけは読んでほしい」と思う本を選んだブックガイド。現在までに、以下の巻が刊行されている。 巻末に、キーワードから探せる事項索引あり。 「1・2 年生」「3・4 年生」「5・6 年生」 （以上、国土社／発行、2011 年刊行） 「日本編 中学生版」「海外編 中学生版」 （以上、金の星社／発行、2014 年刊行）	
「少年少女の名作案内」シリーズ 佐藤宗子、藤田のぼる／編著、自由国民社／発行、（909 サ）	
「世界少年少女文学」シリーズ 定松正／編著、自由国民社／発行（909 サ） 児童文学研究者のチームが、日本と世界の子どもたちに読み継がれている名作を 100 編ずつ選んだブックガイド。それぞれ「リアリズム編」と「ファンタジー編」（2009～2010 年刊行）がある。解説が丁寧で作品理解に役立つ。	

『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 300』(東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会／編著)

『もっとある!学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 220』(同上)

ぺりかん社／発行、2017年・2020年(O19.5ト)

現役の中学・高校の司書と司書教諭が、図書館の分類と同じO(総記)～9(文学)のテーマ順に、おすすめの本を紹介する。対象学年を定めず絵本から新書までバラエティに富んでいるので、意外な本との出会いがあるかも。気さくに話しかけてくるような司書たちの紹介コメントも魅力。

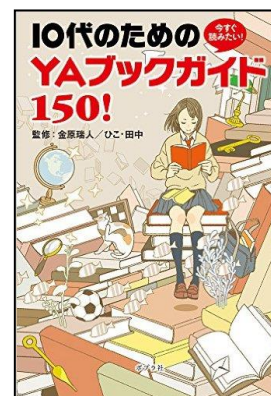


『今すぐ読みたい！』

10代のためのYAブックガイド150!』

金原瑞人、ひこ・田中／監修、ポプラ社／発行(YA010ホ)

翻訳や書評で活躍する2人が監修したブックガイド。作家や翻訳者、書店員、司書、児童文学研究者などが、最近読んだ本の中から、10代の子どもたちに「これおもしろいよ」と手渡したくなったものを選び、おすすめ記事を書いている。1巻目は2015年、2巻目は2017年刊行。
※同監修者(金原瑞人氏)による「12歳からの読書案内」シリーズ(すばる舎、2005～2017年刊行)もおすすめ。



「NPO ブックスタート」

(<https://www.bookstart.or.jp/>)

赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」を手渡すブックスタート活動の普及を進めるNPO団体のホームページ。3年に1度、選考会議を開き、ブックスタートで手渡される絵本の候補となる「ブックスタート赤ちゃん絵本30冊」を選出し、そのリストを公開している。
※リストは、「トップ>自治体の方へ>ブックスタート・パックについて」のページ内のリンクから見ることができます。



コラム① ◆「国際子ども図書館」を使いこなそう！

「国際子ども図書館」（東京都台東区上野公園）は、国立国会図書館の分館として作られた、日本最大の子どもの本の図書館です。1906（明治 39）年建築の帝国図書館を利用した瀟洒な建物には、「子どものへや」「**世界を知るへや**」（→P.19）などの他、「児童書研究資料館」、ギャラリー、カフェなども併設され、子どもも大人も楽しめる施設となっています。定期的におはなし会なども行われています。

図書館のホームページ (<https://www.kodomo.go.jp/>) にも、便利なコンテンツがたくさん。**蔵書データベース**（→P.5）の他、イベント情報、過去の展示会資料、**国内外の主要な児童文学賞や絵本賞に関するニュース**（→P.11）などが見られます。おすすめは「**電子展示会**」で、Web 上で古典絵本の画像をじっくり眺めたり、朗読を聴いたりすることができます。ぜひ、ご活用を！

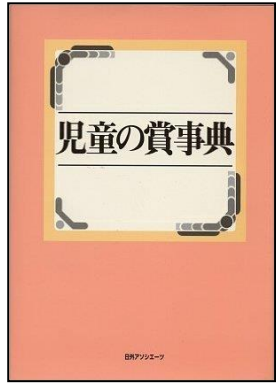
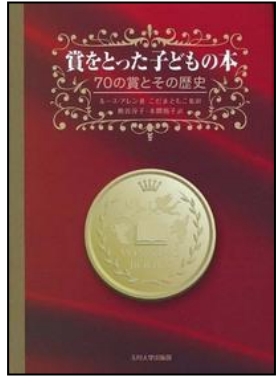




Q3

児童文学賞・絵本賞を受賞した作品のリストが見たい

毎年、国内外で、たくさんの児童文学賞・絵本賞の受賞作品が発表されています。それらを参考に本を選びたいというときは、次の資料が役立ちます。

『児童の賞事典』 日外アソシエーツ／編・発行、2009年（R909ニ） 児童とその文化に貢献した人物や作品に与えられる日本の賞について、過去の受賞者・受賞作品を探ることができる。文学賞はもちろん、美術や科学に関する賞など、文学以外の分野の賞も収録。国外の代表的な賞についても収録する他、巻末には受賞者名索引がついている。	
『賞をとった子どもの本 70の賞とその歴史』 ルース・アレン／著、こだまともこ／監訳、 玉川大学出版部／発行、2009年（R909ア） コールデコット賞、カーネギー賞など、英米を中心に、英語圏の児童文学賞・絵本賞の受賞作品を探ることができる。賞が創設された経緯や歴史など、解説も充実。邦訳されているものには、訳書の書誌情報も付されている。巻末には、欧文のタイトル・人名索引と、（邦訳のある作品について）和文のタイトル・人名索引がついている。	



児童文学賞・絵本賞の最新情報の調べかたについて

上のような冊子媒体では、当然ながら、刊行後の情報までは調べることができません。「今年のコールデコット賞作品は？」などの最新情報が知りたい場合は、各賞の主催団体に問い合わせるか、その団体のホームページなどを調べます。

また、**国際子ども図書館のホームページ** (<https://www.kodomo.go.jp/>) には、「**子どもと本に関するニュース**」として、主要な賞の情報が掲載されています（トップ＞子どもと本の情報・調査）。バックナンバーも閲覧できますので、ぜひご活用ください。（→コラム①「国際子ども図書館を使いこなそう！」：P.10）



Q4

子どもの本に関する事典や年表が見たい

子どもの本に関する調べものをする際、知りたいことの概要をつかむために、まず手に取りたい事典・年表類には、次のようなものがあります。

『絵本の事典』 中川素子〔他〕／編、朝倉書店／発行、2011 年（R726 ナ） 国内外の絵本について、多様な角度から解説した事典。日本の絵本についてはもちろん、「ドイツの絵本」「中国の絵本」など外国の絵本の動向や、ブックスタートなど読書運動との関わり、自然科学の絵本や仕掛け絵本のことなど、あらゆる側面から絵本というメディアに光を当てている。巻末には、文献ガイド、関連団体、絵本の賞、関連施設などの資料と、事項・人名・書名索引もあり。	
『児童文学事典』 日本児童文学学会／編、東京書籍／発行、1988 年（R909 二） 国内外の児童文学について、主要な人名・雑誌名・団体名・事項名など、2404 項目を採用した事典。なお、現在、本書の一部は、編者である日本児童文学学会のホームページ（http://www.jscl.internet.ne.jp/）上で電子版として公開されている（項目や解説は 1988 年刊行当時のままだが、人物の生没年については 2012 年に更新）。	
『日本児童文学大事典 第 1 巻～第 3 巻』 大阪国際児童文学館／編、大日本図書／発行、1993 年（R909 オ） 日本の児童文学とその関連分野における項目を広く採用した事典。第 1～2 巻に人名 2810 項目、第 2 巻に事項名 419 項目と逐次刊行物 439 項目、第 3 巻に叢書 216 項目と文学賞 134 項目を収録している。以後、日本の児童文学の分野では大規模な事典は編纂されておらず、現在もよく参照される。第 3 巻の巻末に索引あり。	

『日本児童文学史事典—トピックス 1945-2015』

日外アソシエーツ／編・発行、2016 年（R909 ニ）

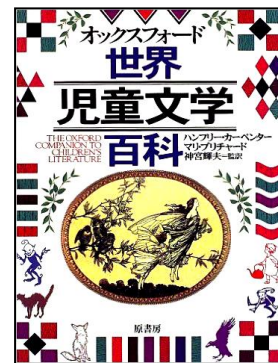
日本の児童文学史上において、1945～2015 年に起きた主な出来事をまとめた年表。各年ごとに、その年の主な話題、ベストセラー、著名作品の刊行、出版事情、関係者の物故、受賞情報、読書運動の動向などが広く取り上げられている。巻末に人名・作品名・事項名索引あり。



『オックスフォード世界児童文学百科』

ハンフリー・カーペンター、マリ・プリチャード／著、
神宮輝夫／監訳、原書房／発行、1999 年（R909 カ）

英米を中心とした世界の児童文学について、作家、作品、物語の主人公、挿絵画家など、2000 以上の項目を採用した百科事典。全ての項目の執筆を、編著者のハンフリー・カーペンターとマリ・プリチャードの 2 人が担当している。原書が刊行された 1983 年当時までの情報を収録。



『世界児童文学百科 現代編』

神宮輝夫／編、原書房／発行、2005 年（R909 シ）

上記『オックスフォード世界児童文学百科』刊行後、現代についての情報不足を補う目的で刊行された事典。執筆は日本の研究者チームが担当し、世界の児童文学について、主要な事項が取り上げられている。

個別の作品・作家についてはもちろん、「アメリカの児童文学」「イギリスの児童文学」「ファンタジー」「リアリズム」など、総論的な解説が詳しく読める項目もある。



コラム② ◆「東京都立多摩図書館」を使いこなそう！

「東京都立多摩図書館」（東京都国分寺市泉町）は、東京都立図書館の分館で、主に雑誌と児童書を収集しています。子ども向けのおはなし会なども行われています。

同館のホームページ（<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>）にも、便利なコンテンツがたくさん。たとえば、「都内図書館統合検索」は、同館の他、都内区市町村立図書館、国立国会図書館の蔵書をまとめて検索できる、便利なデータベースです。また、とくにおすすめなのは、「こどもページ」内にある「子供の読書に関わる方のページ」。年代別の子どもの本のブックリストや、読み聞かせの手引き、自由研究のヒント集などを PDF 形式でダウンロードしたり、子どもと読書に関する Q&A を読んだりできます。都内の学校図書館への支援情報が読める「学校支援サービス」も、ぜひご活用ください。

なお、東京都立多摩図書館は、2017 年 1 月に国分寺市へ移転しました。セミナールームやカフェテリアも入り、ますます魅力的な図書館になっています。

The screenshot shows the homepage of the Tokyo Metropolitan Library. At the top, there's a navigation bar with links like '利用案内' (Usage Guide), '本・情報を探す' (Find Books/Information), 'コレクション紹介' (Collection Introduction), 'ピックアップ情報' (Pickup Information), and '都内図書館情報' (Intra-city Library Information). A search bar is also present. Below the navigation bar, there are several featured sections. A red callout bubble points to the '都内図書館統合検索' (Intra-city Library Integrated Search) button, which is highlighted in a yellow box. Another red callout bubble points to the 'おすすめコンテンツ' (Recommended Content) section, which includes links to 'こどもページ' (Children's Page) and '学校支援サービス' (School Support Service). At the bottom, there are five more featured sections: 'オリンピック・パラリンピックの世界' (World of Olympics and Paralympics), '江戸東京資料案内' (Edo Tokyo Material Guide), '学校支援サービス' (School Support Service), 'こどもページ' (Children's Page), and '青少年ページ' (Youth Page). Each of these bottom sections has a '詳しくみる' (Learn More) button.



Q5

読み聞かせや、おはなし会に使える本を探したい

子どもに本を読み聞かせるときや、おはなし会を開くときなど、どんな本を選び、どんな流れで本を紹介すればよいか、迷ってしまいがちです。そういうとき、こんな本はいかがでしょうか。いずれも、読書ボランティア活動などにはもちろん、ご家庭での読み聞かせの際にも参考になるガイドブックです。

『よみきかせのきほん』

保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』

東京子ども図書館／編・発行、2018年（O19.5ト）

保育園、幼稚園、学校などでの読み聞かせにおすすめの絵本を紹介するブックガイド。ジャンル、対象年齢、所要時間が明記されており、巻末にはキーワードから探せる件名索引もついていて使いやすい。会場の整えかたや絵本の持ちかたといった基本的な事項、お話しプログラム例も掲載されている。



『ブックトークのきほん 21の事例つき』

東京子ども図書館／編・発行、2016年（O19ト）

テーマに沿って本を紹介する「ブックトーク」は、子どもを本の世界に招き入れる手法のひとつ。興味をさそい、その先を読みたいと思わせるための効果的方法やアドバイスが紹介されている他、トークの言葉をそのまま文章にしたシナリオや、各地の図書館司書の実践報告も多数読める。

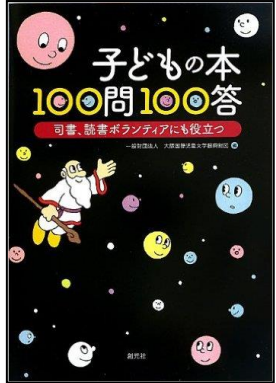


『小学校での読み聞かせガイドブック 改訂版』

湯沢朱実 [他]／編著、プランニング遊／発行、2014年（O19.5ユ）

小学校の朝読書の15分を想定した読み聞かせのプログラムを、学年別に紹介。プログラムは、家庭文庫や学校での豊富な読み聞かせ経験に基づいて組まれており、作品の読みかたのポイントや、事前準備、絵本の持ちかた、記録の取りかたなど、細かく知ることができる。



『子どもの本 100 問 100 答 司書、読書ボランティアにも役立つ』 大阪国際児童文学振興財団／編、創元社／発行、2013 年（O19.5 才）	
2010 年に閉館・移転した「大阪国際児童文学館」の職員が、当時のレファレンス経験を中心に、子どもの本に関する Q&A をまとめたもの。「読書活動のボランティアを始めるには、どうすればいいですか?」「絵本を集団に読むとき、評価の定まった本を読む方がいいのでしょうか?」など、読み聞かせ活動の参考になる質問も多く収録されている。	
『読書ボランティア ―活動ガイド―』 広瀬恒子／著、一声社／発行、2008 年（O19 ヒ）	
「親子読書地域文庫全国連絡会」代表を務める著者が、読み聞かせの本を選ぶ際の基本的な考えかたや、おはなし会のプログラム作りのコツを紹介。その他、読書ボランティアの仲間づくりや、活動する上でのマナー、学校や行政と関わる上での課題なども解説している。おすすめの本のリストも掲載。	
「その本、読みたい!」シリーズ 村上淳子／編著、国土社／発行、2013 年（O19.5 ム）	
朝読書などの短い時間でもできる、1 冊の本の読み聞かせと、3 冊のおすすめ本の簡単な紹介「ぷちブックトーク」を組み合わせたプログラムの実践例を掲載。 「低学年」編と「高学年」編の 2 冊が刊行されている。	

『おはなし会プログラム』(Part1: 2008 年、Part 2: 2014 年) 『ひと目でわかるブックトーク』(2012 年) 「この本読んで！」編集部／編、読書サポート／発行	
季刊誌『この本読んで！』編集部が、季節別・年齢別のおはなし会のプログラムと、テーマやキーワードから発想を広げるブックトークのプログラムを数多く紹介。	
『地域を変えた「絵本の読み聞かせ」のキセキ』 世代間交流プロジェクト「りぷりんと・ネットワーク」／編著、 藤原佳典／監修、ライフ出版社／発行、2015 年（O19 セ） 60 歳以上のシニアが子どもたちに読み聞かせを行う、学校支援ボランティアのプロジェクト「りぷりんと」が、その 10 年間の軌跡をまとめたもの。シニアボランティアが選ぶ絵本 101 点と、子どもたちの反応も掲載。	



読み聞かせ・おはなし会に関わる著作権について

読み聞かせ・おはなし会をする際に関わってくる「著作権」のこと、ご存知ですか？
たとえば、布の絵本を作るとき、集団に読み聞かせをするために、絵本を模写・コピーして、拡大版を作成するときなど……。児童書四者懇談会では、「**お話会・読み聞かせ団体等による著作物の利用について**」という手引きを公開しています（日本書籍出版協会のホームページ（<https://www.jbpa.or.jp/>）>トップ>ガイドライン>読み聞かせ著作権）。気づかないうちに、好きな作品を生み出してくれた著作者の権利を侵害してしまわないよう、ぜひ一読しておきましょう。



Q6

異文化の理解に役立つ本や、外国語で書かれた本を探したい

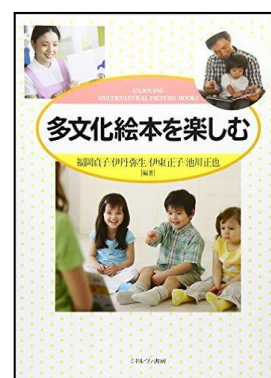
これから異文化に接したり、外国の人と友だちになったりする機会も増えてくる今の子どもたち。子どもの本は、そんなときにも強い味方になってくれます。異文化の理解に役立つ本、外国語で書かれた本を探したいときには、こちらをどうぞ。

- ★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」(→P. 22) でご紹介した本やホームページでも、外国名などの件名を使って探せる場合があります。

『多文化絵本を楽しむ』

福岡貞子 [他] / 編著、ミネルヴァ書房 / 発行、2014 年 (371 フ)

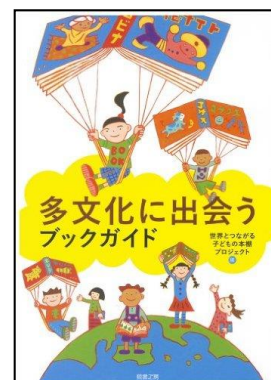
「せかいちすえほん」、「北極圏のイヌイットやネイティブアメリカンの暮らし」など、テーマ・地域別に絵本を紹介する第 1 章、「ハーフとして育つ息子に読む絵本」など、多文化の中での育児を取り上げる第 2 章、保育所・幼稚園・文庫などでの多文化絵本の届けかたを紹介する第 3 章から成る。多文化＝外国の文化ではないと気づかせてくれるのも魅力。



『多文化に出会うブックガイド』

世界とつながる子どもの本棚プロジェクト / 編、読書工房 / 発行、2011 年 (O19.5 セ)

多文化社会の理解を助けてくれる絵本、児童文学、ノンフィクションなど、655 点を紹介するブックガイド。作家、翻訳家などによるメッセージを集めた第 1 章、各国・地域ごとに本を紹介する第 2 章、教育現場などでの実践報告を集めた第 3 章から成る。さまざまな言語の書籍を扱う書店リストも収録。



『世界の絵本・児童文学図鑑』

ジュリア・エクルスシェア / 編、井辻朱美 / 監訳、柊風舎 / 発行、2011 年 (O19.5 エ)

漫画なども含む世界の子どもの本から 1001 冊を選び、原書初版本の表紙と共に紹介した図鑑。0 歳から 12 歳以上まで、対象年齢別に配列されている。邦訳未刊本も多数掲載されているので、世界ではどんな本が人気なのか知ることができる。



『読み聞かせのための音のある英語絵本ガイド』 外山節子／監修・著、宮下いづみ／著、コスモピア編集部／編、 コスモピア／発行、2010 年（O19.5 ミ）	
「国際子ども図書館」 (https://www.kodomo.go.jp/) 上野の国際子ども図書館 1 階には、「世界を知るへや」として、国際理解を深めることを目的とした本や外国語の本が集められており、手に取って眺めることができる。また、外国語に翻訳された日本の子どもの本もコレクションされている。外国の子どもの本を紹介する展示会などが開催されることも多く、ホームページの「展示会・イベント」のコンテンツから、過去の展示会資料を探してみるのもおすすめ。 (→コラム①「国際子ども図書館」を使いこなそう！：P.10)	
「いたばしボローニャ子ども絵本館」 (https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/bologna/index.html) イタリアのボローニャから寄贈された約 100 か国、2 万 8 千冊、70 言語の絵本を所蔵する海外絵本の図書館。蔵書は板橋区立図書館のホームページから検索できる。2021 年 3 月に板橋区平和公園内に移転。	



Q7

障害のある子どもたちが楽しめる本を探したい

視覚・聴覚障害、知的障害、発達障害などがある子どもたちが楽しめる本、「バリアフリー」を意識した読みやすい本も、いろいろな方法で探すことができます。

- ★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」(→P.22) でご紹介した本やホームページでも、各障害名などの件名から探せる場合があります。

『絵本でひらく心とことば 読み聞かせで発達支援』 本と子どもの発達を考える会／著、かもがわ出版／発行、 2019 年 (019.5 ホ) 子ども病院などで子どもたちに読み聞かせをしてきたメンバーが、これまでの経験からおすすめの絵本を紹介。＜この場面では子どもの手をぎゅうっとにぎる＞など、絵本を楽しみながら子どもの発達を支援するための具体的な読みかたがアドバイスされている。絵本と発達に関するコラムも充実。	
『LL ブックを届けるーやさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』 藤澤和子、服部敦司／編著、読書工房／発行、 2009 年 (369.2 フ) 「LL ブック」とは、障害のある方や高齢の方、外国の方などのために、絵や写真を使い、わかりやすい文章で書いた本のこと。スウェーデンで生まれた「LL ブック」の歴史や、世界と日本の現状なども解説する。巻末にはおすすめ本の紹介と、LL ブック・マルチメディア DAISY 図書リストも掲載。	
「ハートフルブック」 (https://heartfulbook.jp/) 産学協同で作られた、LL ブックの情報のポータルサイト。LL ブックの基本を学べるコーナー、これまでに国内で作られたさまざまな LL ブックを紹介するコーナー、実際に Web 上で LL ブックを作成できるコーナーなどがある。	

「ようこそバリアフリー絵本の世界へ」 (http://www.bf-ehon.net/)	
2002 年の「世界のバリアフリー絵本展」をきっかけに生まれたホームページ。バリアフリー絵本展や、関連イベントのニュースが読める他、バリアフリー絵本、点字つき絵本、布絵本などのリスト、入手先情報、関連団体も紹介している。	
「点字つき絵本の出版と普及を考える会」 (https://tenji.shogakukan.co.jp/)	
出版社、印刷会社、書店、大学、点訳ボランティアなどによって運営されている会のホームページ。＜目の見えない人と見える人がいっしょに絵本を楽しめるようになること＞を目標に、点字つき絵本の出版促進を目指している。現時点で入手可能な、点字つき絵本やさわる絵本のリスト（絶版・品切れの絵本も別リストとして掲載されている）を見ることができる。	



障害のある子どもたちと、読み聞かせの可能性

『クシュラの奇跡—140 冊の絵本との日々』（ドロシー・バトラー／著、百々佑利子／訳、のら書店／発行、2006 年（909 八）※1984 年刊行書の普及版）は、重い障害を持つクシュラという女の子の、生後 3 年間の記録です。絵本の読み聞かせが、障害のある子どもの世界をどれほど豊かにするかを示す貴重な記録として、長く読み継がれてきました。障害の有無によらず、優れた物語や絵は生きることを価値あることにしてくれる。また、それだからこそ、本を手渡す大人の存在は大切だと、教えてくれる一冊です。





Q8

特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい

具体的な書名や著者名に見当がついているわけではないけれど、〇〇がテーマの本が読みたい、△△という主人公が出てくる本の題名を思い出したい、ネコが登場する物語が読みたい……といった曖昧な調べ物には、次の本やホームページが役立ちます。

★「Q1. どんな本があるか、できるだけたくさん検索したい」(→P.5)でご紹介した、各種データベースのキーワード検索なども、合わせてお試しください。

●「テーマ・ジャンル」から本を探す

『テーマ別絵本リスト

保育・子育て 絵本の住所録』

舟橋斉、富田克巳／編著、三学出版／発行、2017年(028フ)

主に0歳～就学前の子どもを対象にした絵本を、テーマ別に分類したリスト。季節や行事(入園、遠足、もちつきなど)、生活習慣(給食、午睡、散歩など)、友だち、動物など、保育と子育ての現場でよく求められるテーマが選ばれている。絵本の選び方や、実践例などの解説も合わせて収録する。



『テーマ・ジャンルからさがす乳幼児絵本』

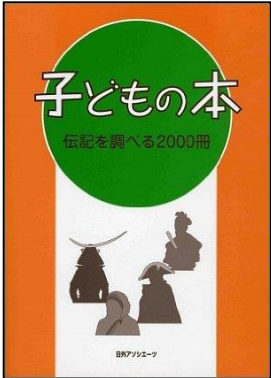
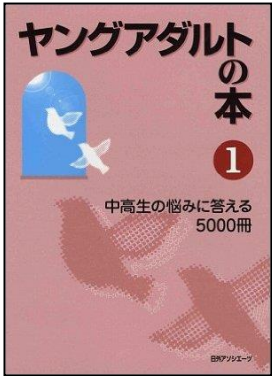
『テーマ・ジャンルからさがす物語・お話絵本1・2』

DBジャパン／編・発行(R909テ)

「乳幼児絵本」(2014年刊行)は、1964～2013年に国内で刊行された絵本のうち、赤ちゃん・乳幼児向けの5911点を、テーマ・ジャンル別に分類して紹介する。

「物語・お話絵本」(2011年刊行)は、1953～2010年に国内で刊行された絵本のうち、日本と世界の物語・お話16449点を、テーマ・ジャンル別に分類して紹介する。



「子どもの本」シリーズ 日外アソシエーツ／編・発行、2005 年～（R028 ニ） 小学生以下を対象にした図書を、分野別に紹介。 目次や簡単な内容紹介が読めるものもある。 近年では、たとえば以下のような巻が刊行されている。 ・「科学を楽しむ 3000 冊」 ・「歴史にふれる 2000 冊」 ・「国語・英語を学ぶ 2000 冊」 ・「美術・音楽にふれる 2000 冊」 ・「教科書にのった名作 2000 冊」 ・「楽しい課外活動 2000 冊」 ・「日本の古典をまなぶ 2000 冊」 ・「情報教育・プログラミングの本 2000 冊」 ・「伝統行事や記念日を知る本 2000 冊」 ・「総合学習国際社会に生きる力を育む 2000 冊」 ・「総合学習郷土・地域とのつながりを考える 3000 冊」	
「ヤングアダルトの本」シリーズ 日外アソシエーツ／発行、2008 年～（R028 ヤ） 中高生を中心にしたヤングアダルト世代を対象にした図書を、分野別に紹介。簡単な内容紹介が読めるものもある。 例えば、現在までに、以下のような巻が刊行されている。 ・「職業・仕事への理解を深める 4000 冊」 ・「教科書の名作 3000 冊」 ・「部活をきわめる 3000 冊」 ・「高校教科書の文学 3000 冊」 ・「18 歳からの選挙権 2000 冊」 ・「ノベライズ化作品 3000 冊」 ・「悩みや不安迷ったときに読む 4000 冊」 ・「社会を読み解く 4000 冊」 ・「将来の仕事・資格に出会う 3000 冊」 （以上、日外アソシエーツ／編） ・「ボランティア・国際協力への理解を深める 2000 冊」 （NPO 研究情報センター／編）	

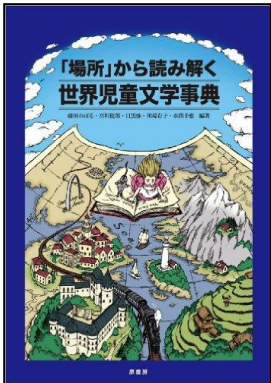
『絵本の庭へ』『物語の森へ』 東京子ども図書館／編・発行（028 ト）	→ 詳細は P.7 へ
巻末に書名・人名・件名索引があり、件名索引では、「クマ」「コロッケ」「愛情」「失敗」「自分探し」など、具体的なものから抽象的なものまで、さまざまな件名から本を探せる。	
『キラキラ読書クラブ 子どもの本 702 冊ガイド 改訂新版』 キラキラ読書クラブ／編、玉川大学出版部／発行、 2014 年（児 010 キ）	→ 詳細は P.8 へ
「ごちそう」「魔女」「おばけ」など、テーマ別に本が紹介されており、巻末には「キーワード索引」「外国名索引」「主人公の年齢別索引」がついている。	
「新・どの本よもうかな？」シリーズ 日本子どもの本研究会／編（児 010 ニ）	→ 詳細は P.8 へ
巻末に事項索引があり、「家出」「うそ」「冒険」（中学生版の例）などの言葉から本を探ることができる。	
「鳴門教育大学 子どもの心を理解するための絵本データベース」 (https://naruto.repo.nii.ac.jp/)	
鳴門教育大学で作成した絵本のデータベース。子どもの心に関する視点から、絵本の主題別検索ができる。 6 個の大主題（「生活と自立」「自我・自己形成」「友達・遊び」「性格」「心」「家族」）の元に、さらに 280 の細かい主題（「お風呂に入る」「動物の世話をする」「一人旅」など）を設定し、絵本を分類・収録。主人公の性別や年齢層からも検索できる。	

●「登場人物」から本を探す



「日本の物語・お話絵本 登場人物索引」シリーズ 「世界の物語・お話絵本 登場人物索引」シリーズ 「日本の児童文学 登場人物索引」シリーズ 「世界の児童文学 登場人物索引」シリーズ DB ジャパン／編・発行、2004 年～（R909 テ）	
日本／海外の絵本／児童文学の登場人物の名前から、作品名・作者名などを探せる索引。 「物語・お話し絵本 登場人物索引」シリーズは絵本の刊行年代別に、「児童文学 登場人物索引」シリーズは「単行本篇」「アンソロジー篇」「民話・昔話集篇」などのジャンル別に巻が分けられている。 同シリーズとして、紙芝居が対象の『紙芝居登場人物索引』（2009・2016 年、R909 テ）もあり。	
『世界・日本 児童文学登場人物辞典』 定松正／編、玉川大学出版部／発行、1998 年（R909 サ）	
『英米児童文学 作品・登場人物事典』 定松正／編、松柏社／発行、2012 年（R909 サ）	

●「場所」から本を探す

『「場所」から読み解く世界児童文学事典』 藤田のぼる [他] / 編著、原書房 / 発行、2014 年 (R909 フ) 「屋根裏部屋」「陸上競技場」「図書館」など、さまざまな「場所」を印象的に描いた、国内外の児童文学を紹介する。「つどう」「くらす」「あそぶ」「であう」など、8 つに分類された 200 の「場所」の名前から、作品を探すことができる。	
---	---

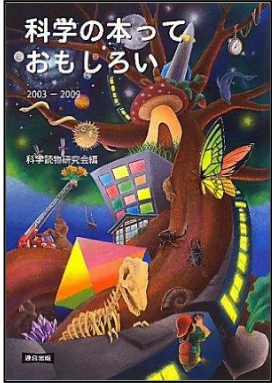
●「日付」から本を探す

『子どもの本のカレンダー 増補改訂版』 鳥越信、生駒幸子 / 編著、創元社 / 発行、2009 年 (028 ト) 「ぼくのお誕生日に事件が起こる話が読みたい」という子どもからのリクエストに応じて編まれた、1 年 366 日分・366 冊のブックレビュー。 たとえば「10 月 14 日」は、主人公の双子・ロッセとルイーゼの誕生日ということで、『ふたりのロッセ』(ケストナー / 著) を取り上げるなど、その日付に関連のある作品を紹介する。	
『別冊太陽 365 日、まいにち絵本！』 生田美秋 / 監修、平凡社 / 発行、2008 年 (019.5 ヘ) 1 月は「元日」、2 月は「節分」、3 月は「卒園式」というように、節目ごとに触れたい絵本を、1 年の流れに沿って紹介する。各季節のメジャーな行事・出来事の定番絵本はもちろん、6 月 10 日は「時の記念日」で『ねぼすけはとどけい』(スロボドキン / 作) が挙げられるなど、少しひねりをきかせたものも。	

●「科学」に関する本を探す



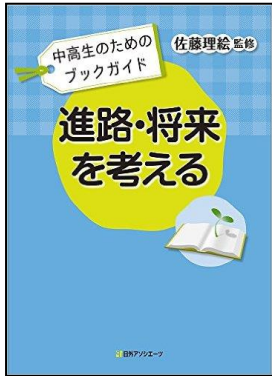
- ★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」（→P.22）で紹介した本やホームページでも、「宇宙」や「昆虫」などの件名から探せる場合があります。

『子どもと読みたい科学の本棚 童話から新書まで』 藤嶋昭、菱沼光代／著、東京書籍／発行、2013 年（403 フ）	
「科学の本っておもしろい」シリーズ 科学読物研究会／編、連合出版／発行（403 カ） 「科学読物研究会」による、「科学入門」「数学・物理・化学」「植物」などの分野別に科学読物を紹介するブックガイド。1980 年代から改版を重ねており、最新版は『科学の本っておもしろい 2003-2009』（2010 年刊行）。なお、同会のホームページ（http://www.kagakuyomimono.com/）には、より新しい本も探せるデータベース「本となかよし」がある。	
『子どもの本 科学を楽しむ 3000 冊』 日外アソシエーツ／編・発行、2010 年（R028 二） 2000 年以降に日本で刊行された小学生以下対象の図書の中から、理科・算数・宇宙・自然・恐竜・植物・動物・人体など、科学について書かれたもの 2922 冊を収録。	→ シリーズの 詳細は P.23 へ

●「進路・職業」に関する本を探す



- ★ 「Q8. 特定のテーマやジャンル、キーワードから本を探したい」(→P.22) でご紹介した本やホームページでも、各職業名などの件名から探せる場合があります。

『中高生のためのブックガイド 進路・将来を考える』 佐藤理絵／監修、日外アソシエーツ／発行、2016年（O28 二）	
中高生が進路や将来について考える際に参考となる図書 609 冊を収録。目次や簡単な内容紹介も読める。 「学校生活から将来へ」「仕事・職業を知る」「進路・進学先を選ぶ」「受験術・アドバイス」の章の元、分野別に並べられている。職業選択に役立つ本はもちろん、それ以前の「なぜ勉強するか」「どの学校で何を学ぶか」「どう学べばいいか」などの疑問に応える本も数多く紹介。巻末に、学問の分野名や職業名などから本を探せるキーワード索引あり。	
『ヤングアダルトの本 将来の仕事・資格に出会う 3000 冊』 日外アソシエーツ／編・発行、2020年（R028 ヤ）	→ シリーズの 詳細は P.23 へ
2011～2019 年に国内で刊行された図書の中から、329 の職業・資格に関する 3743 冊を収録。簡単な内容紹介も読める。巻末に、「パティシエ」「ゲームクリエイター」「イラストレーター」など、個々の職業名から本を探せる職業名索引あり。	

コラム③ ◆「東京子ども図書館」・「家庭文庫」に行ってみよう！

「東京子ども図書館」（東京都中野区江原町）は、東京都内にあった4つの家庭文庫を母体として1974年に設立された、子どもの本専門の私立図書館です。

「家庭文庫」とは、個人が自宅を開放し、その蔵書を近所の子どもたちなどに貸し出す営みのことです。上記4文庫のうちの一つは、子どもの本の作家・翻訳者・編集者として活躍した石井桃子さんが、杉並区の荻窪で1958年に開いた【かつら文庫】でした。現在も同地で、「東京子ども図書館」がその活動を引き継いでいます。石井さんは、かつら文庫での実践を『子どもの図書館』（岩波書店／発行、1965年）という本にまとめており、それは日本各地に家庭文庫が広がるきっかけにもなりました。杉並区内では、今も複数の家庭文庫が活動を続けています。

身の回りの子どもたちに、自分たちの手で、よい本を手渡していきたい——そんな思いから始められたこれらの図書館・文庫にも、ぜひ足を運んでみてください。

●『東京子ども図書館』（東京都中野区江原町）（<https://www.tcl.or.jp/>）

●『かつら文庫』（東京都杉並区荻窪）

（東京子ども図書館ホームページ（トップ＞利用する＞子ども・親子の利用＞かつら文庫のごあんない（子ども））で詳細が読めます）

● 杉並区内で活動中の家庭文庫

1	ジルベルト文庫
2	ちいさいおうち文庫
3	バンビぶんこ
4	ポケット文庫
5	ポプラ文庫
6	このあの文庫
7	すみれ文庫
8	子どもの本の家 ちゅうりっぷ

2020年度現在、杉並区立図書館で貸出等の支援を行っている家庭文庫です。詳しくは、中央図書館までお問い合わせください。

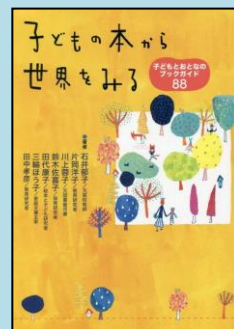
コラム④ ◆ 悩みがあるとき、こんな本はいかがですか？

子どもと向き合う日々は、さまざまな悩みと向き合う日々でもあるかと思います。悩める自分に、または子どもに手渡す本を探したいときには、こんなガイドをどうぞ。

● 『子どもの本から世界をみる 子どもとおとなのブックガイド 88』

(石井郁子／著、かもがわ出版、2020、019.5 イ)

保育・教育・心理学の研究者、教師、司書らによるブックガイド。貧困・異文化・障害など、幼児から高校生までの世代を取り巻くテーマから、「ともに生きる」ことを考えるための 88 冊を紹介。子どもはもちろん、おとなにも読んでほしい本が選ばれています。



● 『絵本で子育て 子どもの育ちを見つめる心理学』

(秋田喜代美、増田時枝／著、岩崎書店／発行、2009 年、599 ア)

教育学や発達心理学、保育を専門とする著者 2 人が、「なかなか寝てくれません」「子どもと二人っきりで孤独です」といったさまざまな子育ての悩みに対し、Q&A 形式で絵本を紹介する。直接の解決策ではなくとも、絵本に描かれた子どもの姿が、お悩み改善のヒントになるかもしれません。



● 『年齢別!子育てママ&パパの頼れる絵本 193』

(遠藤 裕美／監修、ユーキャン学び出版／発行、2020 年、019.5 コ)

ファーストブック選びから、トイレトレーニングや寝かしつけ、入学前の準備まで、0 歳～6 歳までの子育てをサポートしてくれる絵本を多数紹介。年齢別に発達段階に合わせた育児のアドバイスも豊富にあり、絵本を通じて子育てをサポートしてくれる一冊。



● 『いじめを考える 100 冊の本』

(いじめを考える 100 冊の本編集委員会／編、駒草出版／発行、2013 年、019.5 イ)

ベテランの教員などが、いじめを描いた本、いじめについて考えるための本 107 冊を選んだブックガイド。幼児から高校生まで、対象年齢別に紹介されている。あらすじや印象的な部分の引用も読める。



杉並区立中央図書館
2016 年 8 月 1 日発行
2017 年 10 月 1 日改訂
2018 年 3 月 1 日改訂
2021 年 2 月 1 日改訂
(代表) 03-3391-5754